

愛知県大口町教育委員会 土井謙次

1. 外国へ行ってみたい！

世界の国々への関心は、まず「行ってみたい」というあこがれから始まります。子どもたちは、テレビ番組や雑誌の写真などから、外国の情報を断片的に手にいれています。これを地図帳と白地図を使って結びつけることで、知識につながります。地図帳と白地図で、海外旅行を楽しみましょう！

2. 資料収集作戦！

旅行会社各社は、商品のPRとして、カラフルな海外旅行のパンフレットを制作しています。このパンフレットは、世界地理・国際理解学習の生きた教科書です。やや厚めのものには、たいいてい気候や時差・通貨・物価水準などが記載されています。これらは小学生にはやや高度ですが、写真やイラストだけでも十分使えます。食事の内容から食文化を、おみやげからはその国の産業をかいま見ることができます。これらのパンフレットは有効期間が限定されているため、早めに頼んでおけば、古くなったものを大量に譲り受けることができるかもしれません。できるだけ、世界各地のコースを集めたいですね。

3. いざ、開始！

準備するもの

(児童) 地図帳、旅行社パンフレット(コース表)、はさみ、のり、色鉛筆など

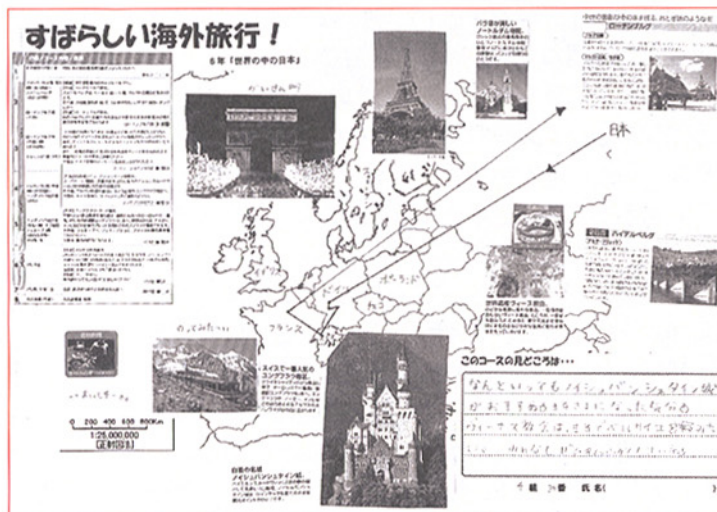
(教師) 白地図、予備のパンフレット、一〇コメント用紙

白地図を配布します。韓国などあまりにも近い国やヨーロッパのように細かい国は、州別の白地図のほうがベターです。各

自が準備したパンフレット(コース表)を見ながら、地図帳で都市の場所を探します。おおよその場所は、パンフレットに描かれているのでむずかしくはありません。それを、日本から定規を使ってコースにしたがって線で結んでいきます。

地図帳に載らないような小さい都市はおおよその位置でかまいません。しかし、地図帳に「ワイン」「油田」などが載っていたら、白地図にメモしていきます。

あとは簡単。パンフレットにある風景や食べ物の写真・イラストを切りとり、コース表とともに余白に貼っていただけです。「おいしそう!」などのコメントも自由につけさせてあげてください。最後に、一〇コメント用紙に、コースの推薦文を書い



て貼ります。これでビジュアルなコース表のできあがりです。

時間がある子には、オリジナルコース表をつくらせてあげてもよいですね。

4. 世界へ目を

コース表づくりは世界へ目を向ける第一歩。できるだけ楽しく活動させたいものです。ただし、時間があるときはここで終わるのはもったいない。外国に関心をもったときこそ、貿易などの日本との関係についても調べさせたいものです。

すばらしい海外旅行コースをつくりましょう。